

## 太陽と緑

徳島市富田浜2丁目6番地2  
近藤整形外科内太陽と緑の会  
編集、発行 近藤文雄

### ※ごあいさつ※

太陽と緑の会の福祉リサイクルは、発足して一年を越えました。その間市民の皆さんからは、温かいご支援をたまわり、さまざまな品物を提供いただいたり、再生した品物をお買いいただきました。皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

### ※リサイクルの台所※

現在の陣容では、正常な運営に月百万円ほど必要ですが、収入は月五十万から六十万円です。どうしてやってこれたのかというと、専従者に十分な給与を支払わず、ボランティアの方々から、物心両面の援助をいただくなど、出費を切り詰めてなんとかやりくりしてきました。

常設店舗も福本さん、大平さんのご厚意で貸していただき開店することができました。が、家賃はまだ払うことができません。

トラックの購入や設備等大きい出費は借入金と、徳島新聞社会文化事業団はじめ、皆様のご寄付によってまかなうことができました。

### ※店舗がほしい※

徳島市役所の旧東庁舎をもらいたい、と市にお願いしたのは、今の店舗がおかげさまで手狭になったのと、もっと多くのかたにリサイクルの商品を知っていただきたいからです。

販売量が増えれば、皆さんにも喜んでいただけるし、わたしたちの運営も軌道に乗せられます。

庁舎の解体、移転にかかる費用は、県建設業協会徳島支部のご援助で、やりくりできるメドがたちました。

あとは、どこに立てるかです。便利で、親しみやすい所を求めて、わたしたちは、あっちこっち駆けずりまわりました。

☆まいつきやってる、ばざーとは、なにであるか。

## BAZAR, MONTHLY BAZAR

いつ・・・毎月第四にちようび。朝11時から。  
どこで・・・富田浜二丁目。近藤整形駐車場。  
なにを・・・リサイクルの商品を、  
どうする・・・安く買って、得しちゃえる。

☆まいにちやってる、みせとは、どういうものであるか。

## SHOP, DAYLY SHOP

いつ・・・毎日営業。水曜定休。朝、10時から。  
どこで・・・東大工町。スターダスト。  
なにを・・・リサイクルのいいものを、  
どうする・・・じっくり選べて、大満足。

スターダスト 26-3643  
月の宮作業所 44-0171

### ※何で始めたかって？※

これを始めたきっかけ？以前私は、「ボバイの家」という通園の作業所に勤務したことがあり、そこで、重度から中程度の知恵遅れの人たちや、重度の身体障害の人たちと付き合ったからです。

平均年齢三十八歳、二十一名の集団でしたが、全員が作業所づくりに参加し、そこで、木工や金属加工、和文タイプ、農作業、と石のラベルはりの作業を通して、きょうもせつせと生きておりました。

### ※キーワードをみつけた。それは、コミュニティー・ケア※

色々なボランティアや保護者の人たちの参加もあり、地域に根ざす活動をしておったのですが、コミュニティー・ケアつまり、地域でつくる福祉、というにはどこか限界があると思いました。

福祉が進んでいる、遅れている、というそれぞれ土地がら、特色があります。そうしたなかで、障害をもった人たちが、その地域のなかでいきいきと生きることができ、地域もそれを受け入れるという関係を持続するためには、どうしたらいいんだろう。

地域の特性を無視して、桃源郷を金を積んでつくるのなら話は別です。そうではなく、地域のなかで障害のあるなしにかかわらず、人と人とのつながりをつくるには、日常的な一施設に慰問に行くというような断片的なものでない一取り組みがいます。

しかも、普通の社会生活を営みながら、障害をもった人たちが社会参加する必要があると思いました。コミュニティー・ケアとは、そういうことなのです。

### ※じゃあ、福祉リサイクルはどうなのかな※

福祉リサイクルは、市民の方々の善意によって成り立っています。でも、こんなこともあります。

県営住宅の四階に住んで折られる老夫婦から、壊れた冷蔵庫なんかも、トラックでいただい

## 杉浦 良

てまいります。不用品を処分するのに、お金がいる時代です。その、現代に「ご協力ありがとうございます」「わざわざごろうさま。どう処分しようか、悩んでいたんですよ。ありがとうございます」という、会話が 있습니다。私たちは、こんな関係が、自然に当たり前の仕事をするなかでできあがっていくことが、喜びです。

### ※バザーでも、ふれあいが※

「安いねえ」「ハイ、僕が一生懸命、磨きました」自信まんまんの顔で応答するのが、知恵遅れの人だということに、何人のお客さんが気付いたでしょう。

要らないものを持ってきた、掘だしものを探した。どっちだっていいのです。店に行ったら、たまたま名も知らない、障害を持ったひとがいた。

そんな空間が、福祉リサイクルの姿、だと思ふのです。

### ※みちしるべ※

社会が、そして健常者が、障害をもった人に何かを与えるという関係だけでなく、障害をもった人たちも、できるかぎり、自分を生かす。

できる量が多い少ないはともかく、社会に積極的に首をつっこんでいく姿を、創造すること。

それぞれの可能性を生かすこと。知恵遅れ、身体障害、精神障害、などと呼ばれている人も、そう呼ばれていない人も、それぞれの持ち味を、伸ばし、発揮し、生かしていくことで、全体として福祉リサイクルを進める。

これが、目的です。それが、徳島のコミュニティー・ケアを創造していく、糸口になれば、スタッフのやりがい、どうやらここにあるようです。

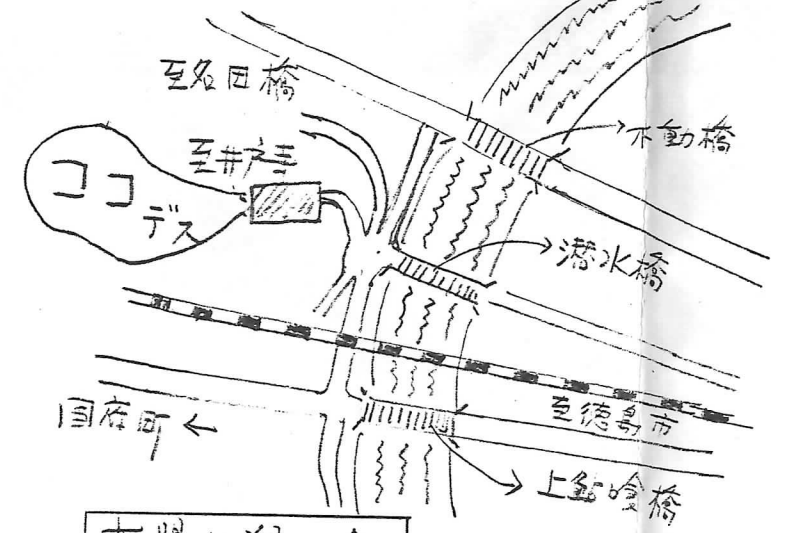


テレビ放映  
リサイクル活動

愛は地球を救う24時間テレビ放映で四国放送より全国ネット  
 で流されたが八月二十四日リサイクル活動にヒリキリして頂いたことは  
 まことにうれしかった。また時間帯が早朝の5時であった為一部  
 の方しか見て頂けなかつたことか心のこりであった。皇族の杉浦氏  
 と中野氏がテレビに出演されたが中野氏が24時間に出た夜  
 香川県に帰省された時途中のヤマモト様より店にて感激の  
 を受けヤマモトのサービスをして頂いたのはテレビ出演のおかげ  
 とその反響の大きなことにはびっくりし且つ嬉しく思つたことでした。  
 次に関西テレビよりリサイクル国府店の活動を放映してくださ  
 いました夕方の時間帯で全国に流されたのでごらんの方は多  
 かつたことと思います。このようにリサイクル活動は多方面の方々  
 に認めて頂きご支援を賜かつて今後より一層活躍致し  
 たいとスタッフ一同念じています。

なんでもそろう 太陽と緑の会  
国府の福祉リサイクル店  
 午前10時南店 夕方7時南店  
 国府町南岩込107-1 (定休日毎週水曜日)  
 TEL. 42-1054  
 皆様のご家庭の不用品を頂きます  
 電話一本でトラックが参上します

リサイクル店所在地図



太陽と緑の会

昭和46年4月に生まれました。ボランティア  
 団体です。主として心身障害者の福祉のため  
 いろんな活動をしています。昭和59年より  
 リサイクル活動を主としてやっております。

太陽と緑の会  
会員募集

会費もなく会費も不必要  
 です。社会を少しでも良く  
 するために無理なく協  
 力できる範囲で進んで  
 参加して下さい方を歓迎  
 致します。どうぞお気軽に  
 参加ください。

例会日  
 { 奇数の木曜日 → 国府リ  
 (1, 3, 5週) クル店  
 偶数の木曜日 → 近藤整  
 (2, 4週) 病院4階  
 夜 { 7時30分より  
 9時0分まで

リサイクル店に来て

安部徹(40才) 香川県出身 車椅子使用  
 国府福祉リサイクル店長

昨年より徳島市の月の宮にヒマヒマ寄せて頂いていました。  
 杉浦氏より徳島へ来たいかと言われましたが、私は体力的に月の宮の  
 仕事にはあかないので関心も興味もなかつたのですが、今回国府  
 のリサイクル店の仕事をマカサと言われて6月に決心してまいりました。  
 今まで私のして来た仕事は香川県で印刷とか施設の中での  
 エレクトロニクス製品の組立の仕事又は共同作業所での内職と手  
 主体とした作業ばかりでした。多くの障害者の方の仕事は殆ど  
 年に技術を変えてくるものが多いです。最近になってやつと人と接す  
 る仕事に障害者も可能性を見出すようになってまいりました。  
 私もしリサイクルを通して人々と接する機会が可能になりとても  
 興味と関心をもつて活動しております。他の障害者の方々の方  
 々にも私はこのリサイクル活動を成力させるべく努力しております。